

様式第1号 (第3条関係)

年 月 日

小田原市長 様

アクティブシニア応援ポイント事業参加登録申請書

私は、次のとおりアクティブシニア応援ポイント事業参加者として登録を申請します。

申請者	(ふりがな) 名 前	
	住 所	小田原市
	電 話	
	生年月日 ※60歳以上	年 月 日

アクティブシニア応援ポイント事業に関し、次のことに同意します。

- ・アクティブシニア応援ポイント事業に参加者として登録するにあたり、市が登録内容を住民基本台帳で照会すること及び社会福祉法人 小田原市社会福祉協議会に提供すること。
- ・ポイント交換を申請するにあたり、市が介護保険料の納付状況を介護保険システムで照会すること及び社会福祉法人 小田原市社会福祉協議会に提供すること。また、裏面の事項について遵守することを誓約します。

申請者名 _____

(※市記入欄)

登録番号

アクティブシニア応援ポイント事業誓約書

私は、アクティブシニア応援ポイント事業に参加し活動を行うに当たり、以下のことについて遵守することを誓約します。

～ボランティア活動の心得～

◆秘密や約束は必ず守ります。

○受入施設でボランティア活動をする際には、施設入所者のプライバシーに関わる個人情報（名前、住所、心身状態など）を知り得ることがありますが、ちょっとした内容のことでも絶対に第三者に口外してはいけません。友人や知人はもちろん、家族にも他言してはいけません。活動を辞めた後も同様です。

○時間など約束したことは必ず守りましょう。

○体調不良や急用で活動を休む場合には、必ず受入施設へ連絡を入れるなどの対応をしましょう。

◆身近なことから無理のない範囲で活動します。

○ボランティアの活動はいろいろあります。自分の特技や趣味を活かした活動もありますし、受入施設からの要望に応じた活動もあります。まずは、自分の健康を考え、身近なところで無理をしない範囲で活動することが大切です。

○自分に向いている活動内容を選んでください。

◆相手を理解し、尊重した活動をします。

○活動で接する方々は、それぞれ性格や環境により様々な生活を営んでいます。ボランティアだからといって、一方的で勝手な行動は慎み、相手の方を良く理解し、相手の方の生活習慣や価値観を尊重した活動を行うことが求められます。

○受入施設の職員の方や活動の仲間と良いコミュニケーションを取り、楽しい活動にしましょう。